取扱説明書

DAYTONA
R46245 ①/⑨

ローダウン KIT	適応車種	商品NO.
	GB350C（'24） ※GB350/S 取付不可	46245

■ ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。

禁止

- 本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
- 本商品に曲げ、切削、溶接などの加工は行なわないでください。商品の破損だけではなく、車両側の破損や重大な事故につながる恐れがあります。
- **市販のローダウンブラケットの装着や車両の加工などにより、車両本来のリアショック取り付け位置を変更しないでください。リアショックや車両が破損する原因となります。**
- **本商品は純正状態をベースに設計されております。フェンダーやタイヤ、スイングアーム、ホイールなどを純正から変更されている場合にタイヤとフェンダーがフルストローク時に接触する場合があります。社外部品の組み合せには十分注意してください。**
- **取り付け調整幅は「338～353mm」です。この範囲を超えて調整することは、大変危険なため絶対に行なわないでください。**
- サスペンションスプリングに加工などを行なわないでください。本来の性能を低下させたり、重大な事故につながる可能性があります。

実施

- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

分解禁止

- 本商品は非分解式です。ショックアブソーバーの分解や改造、切削加工などは絶対にしないでください。

⚠注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施

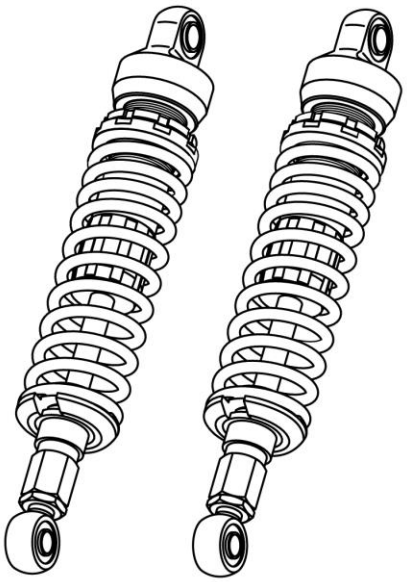
- 商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。特に本商品は製造上の工程により端部が鋭くなっております。取り扱いの際は必ず保護手袋を着用し、ケガには十分に注意して作業を行なってください。
- 本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ず確認ください。万一気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。
- 認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や商品の損傷や不具合に繋がる場合がございます。
- 作業は安全な場所で車両を安定して支えられるメンテナンススタンドを使用し、周囲の安全を確保したうえで行なってください。また安全のために二人以上で作業を行なってください。
- 取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性がございます。
- ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用して、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。
- スプリングプリロード調整（イニシャル調整）は同梱の④イニシャル調整ツールをご使用ください。
- ①リアショックの調整は、左右共に同じ車高と減衰力に調整してください。
- 車両をメンテナンススタンドから降ろす前に②サイドスタンドが正常に動くことを確認してください。また、車両を降ろした後は①リアショックが正常に動くことを確認してください。
- 本商品の使用の際は水平で平らなアスファルトなどの上でご使用ください。砂利やぬかるみの上では、車両が転倒する可能性があります。
- 本商品を装着することでリア側の車高が下がり、最低地上高やコーナーリング、バンク角、サスペンションのストローク量、クッション性、ギャップ時の挙動などが純正状態から変化します。運転操作に慣れるまで十分に習熟運転を行なってください。
- 取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。その後は約 500km 毎に同様の作業を行なってください。

2026/01/22

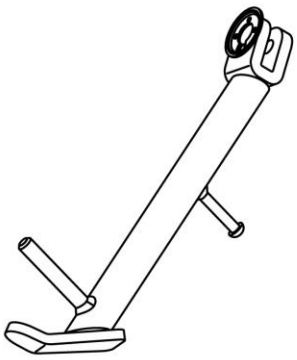
⚠注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
法令違反	・本商品の装着時にヘッドライトの光軸調整が、必要になる場合がございます。
その他	・商品保証は、本商品のみが対象となります。また、本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。 ・①リアショックの取付長は±2mm 程度の製品個体差があります。あらかじめご了承ください。 ・転倒履歴がある車両には取り付けできない場合がございます。 ・本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。溶接や塗装、小キズ、歪みなど程度の差がございます。 ・他社製商品などの同時装着は未確認です。（※保証対象外） ・本商品はスチールとアルミ、樹脂を使用した商品になります。ご使用の環境や経年変化、使用損耗により素材劣化（アルマイトやサビ含む）が、どうしても早期から進行する場合があります。 ・本商品を取り付けた場合、車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。また走行状況によってはスプリングがサスペンションボディに接触し、キズが付く場合がございます。 ・本商品の取り付けには一部の純正部品を使用します。取り外しの際には損傷や紛失に十分注意してください。 ・**本商品のオーバーホールをご希望の場合は下記までお問い合わせください。** ---------- （株）デイトナ　カスタムグループ Mail：cus@daytona-mc.jp ---------- ※オーバーホールを弊社以外で行なった場合は、性能や品質の保証は致しかねます。 ・本商品、または本書内でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

商品内容

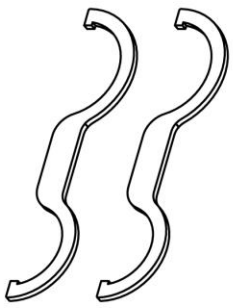
NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	リアショック		2	③	イニシャル調整ツール		2
②	ショートサイドスタンド		1				



①リアショック



②ショートサイドスタンド



③イニシャル調整ツール

■リアショック スペック表■

スプリングプリロード（イニシャル調整）	無段階調整式
伸び側減衰力調整	20 段（※2）
車高調整幅（自由長）	338 ～ 353mm（※3）
バネレート	1.9 ～ 2.4kgf ／ mm
ストローク	67mm

※2… 伸び側減衰力調整は 21 段以上動きますが、21 段以上は減衰力が変化しません。
※3… ノーマル長 368mm(GB350C ／ '24)

取付方法

【作業前の注意事項】
・純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行なってください。
・作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。
・リアスタンドを使用してリア側をリフトアップさせてください。その後、フロントブレーキロックなどを使用して、フロント側が動かないように車両を固定します。

◆フロントフォークの調整

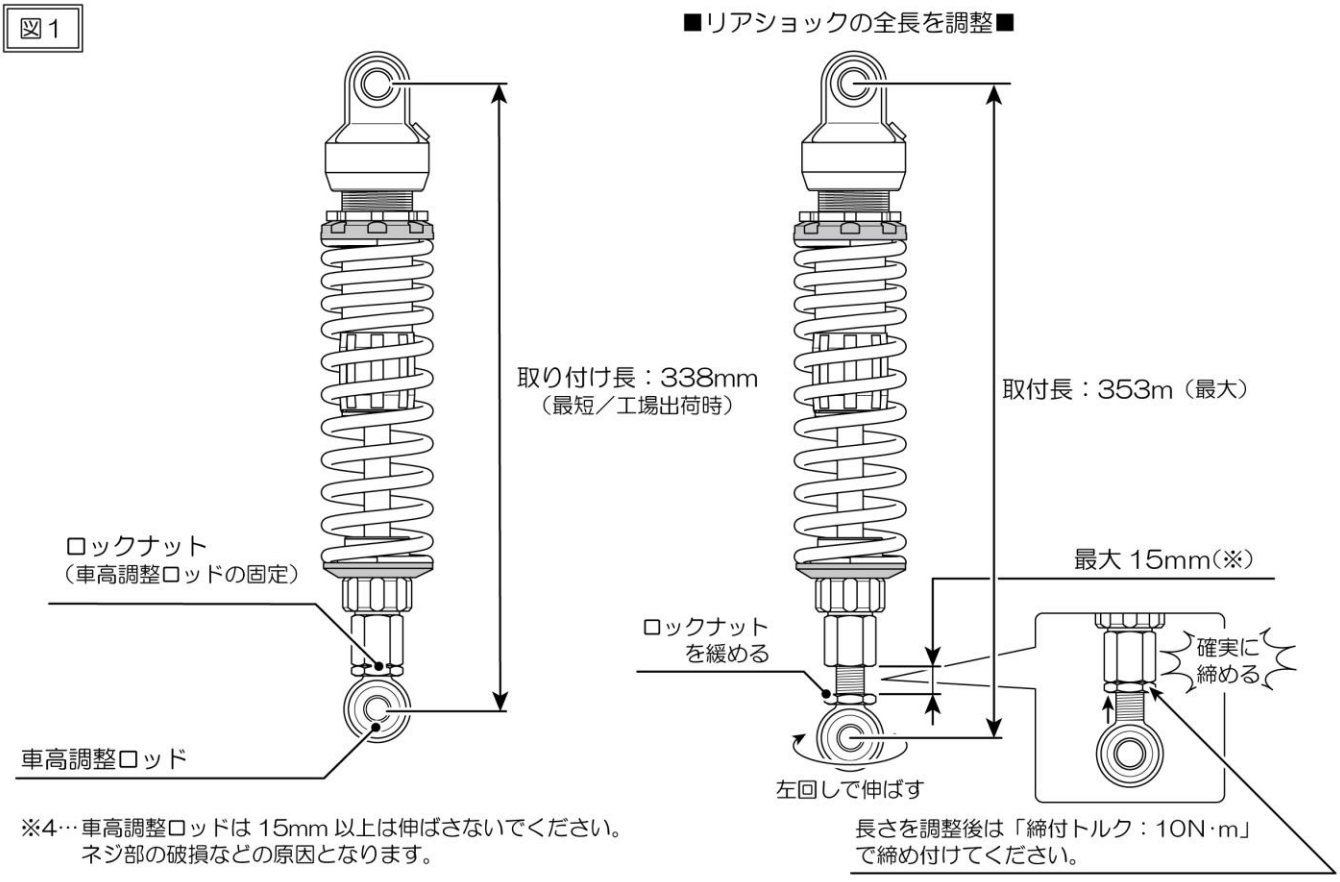
・フロントフォークの突き出し量は、**「変更なし」**を推奨しております。
※フロントフォークの突き出し量の変更は、お客様の好みに合わせて調整ください。

01．リアショックの取り付け長を調整

・図 1 を参考に、①リアショックの取り付け長を、好みに合わせて調整します。

※出荷時の取り付け長は 338mm（最短）になります。

図1



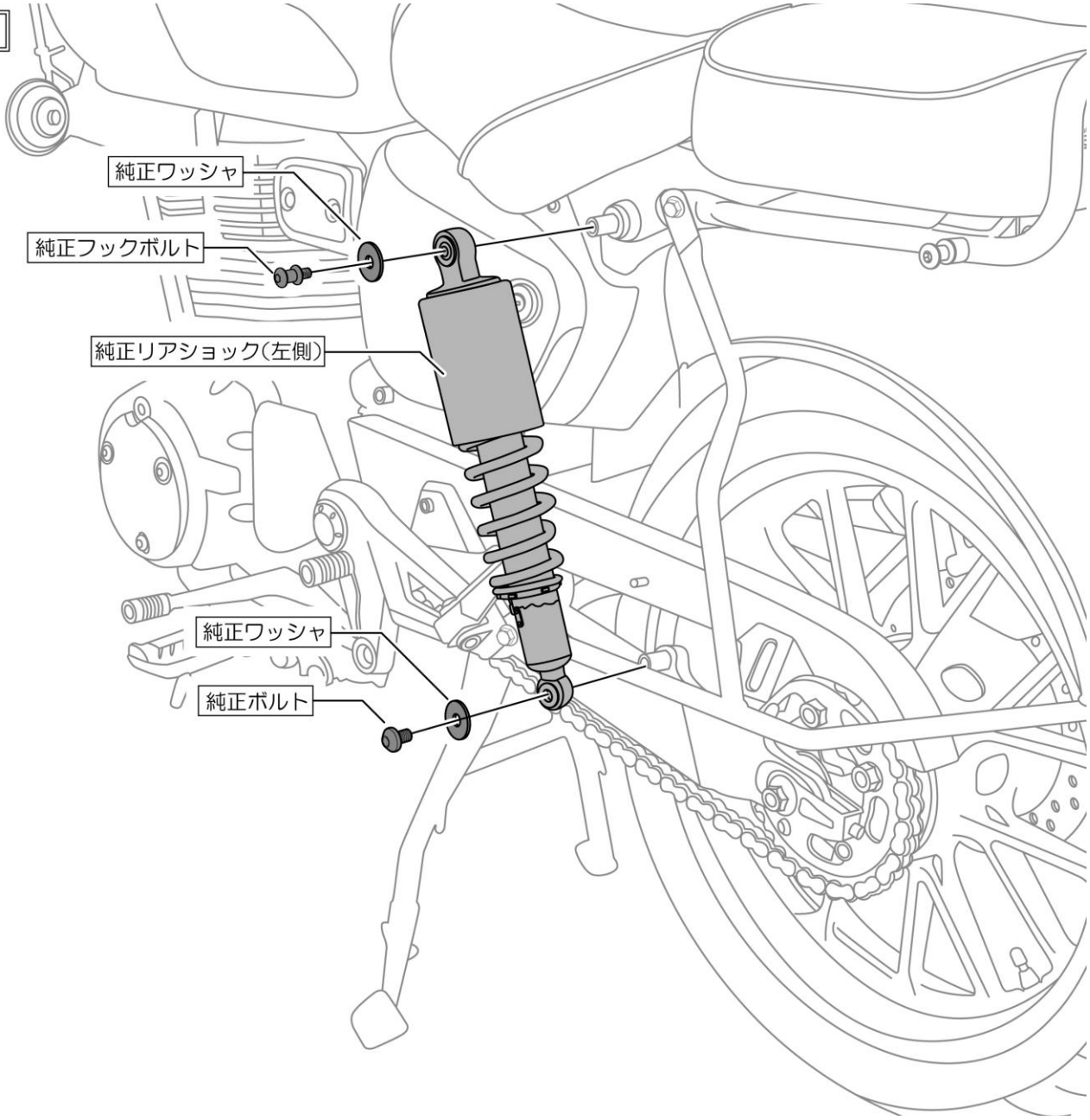
■補足■
・リアショックを長くするとキャスター角が立ち、クイックなハンドリングで旋回性が良くなりますが、直進安定性が落ちます。
・リアショックを短くするとキャスター角が寝て、安定したハンドリングとなり直進安定性も向上します。ただし旋回性が悪くなり、低速走行でハンドルが切れ込みやすくなります。

02. 純正リアショックの取り外し

・図２を参考に、左側の純正リアショックの純正フックボルトと純正ボルト、純正ワッシャを取り外します。

・車両より純正リアショックを左側のみ引き抜きます。

図２



03. リアショックの取り付け

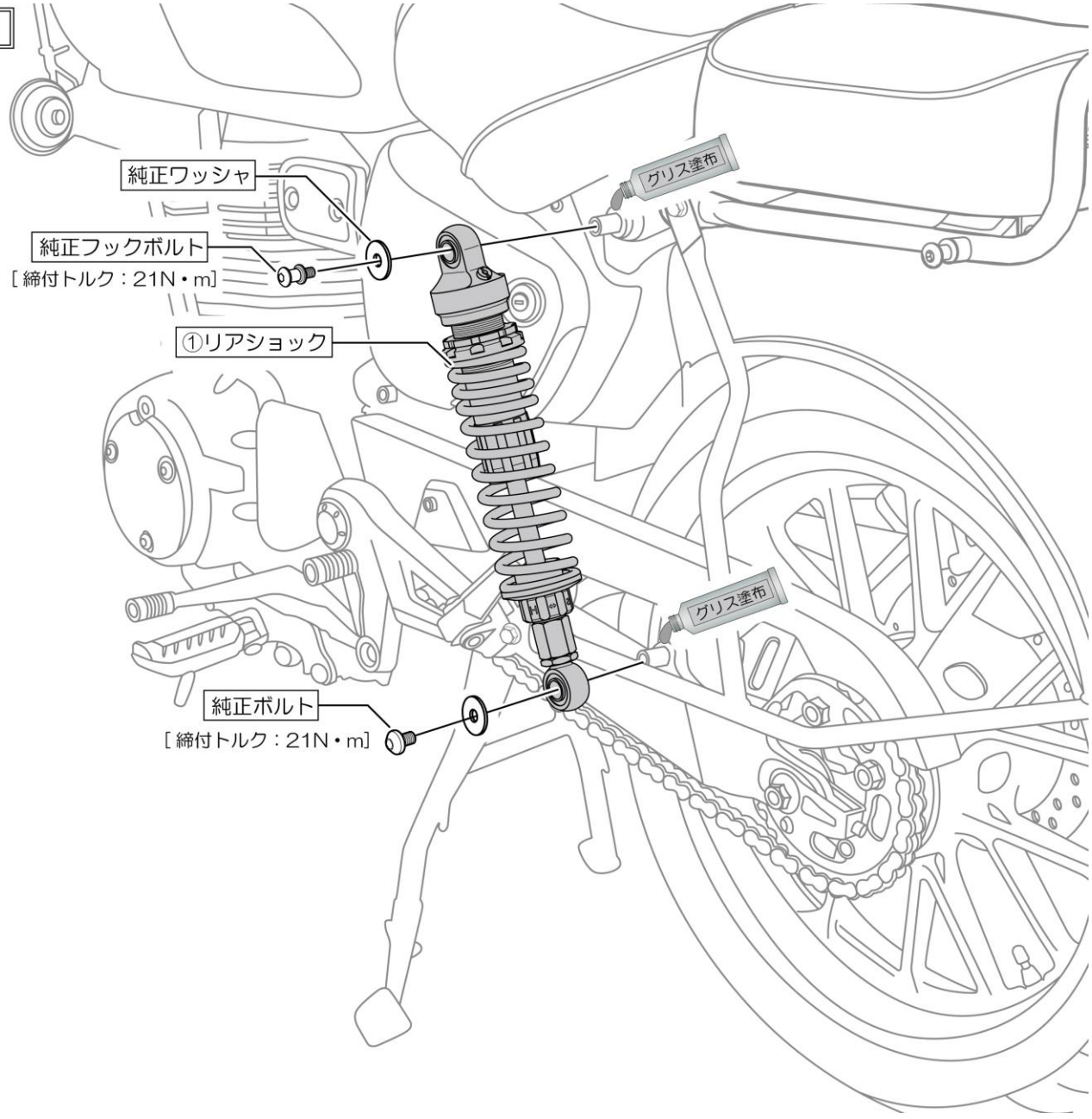
・純正リアショックが取り付いていたアッパー側とロア側のシャフト部に薄くグリスを塗布します。

・図 3 を参考に、車両のリア側を下に押して高さを調整しながら、左側に①リアショックを取り付けます。

・手順 02 で取り外した純正フックボルトと純正ボルト、純正ワッシャを取り付けます。

・右側の純正リアショックも同様に取り外し、①リアショックを取り付けます。

図３



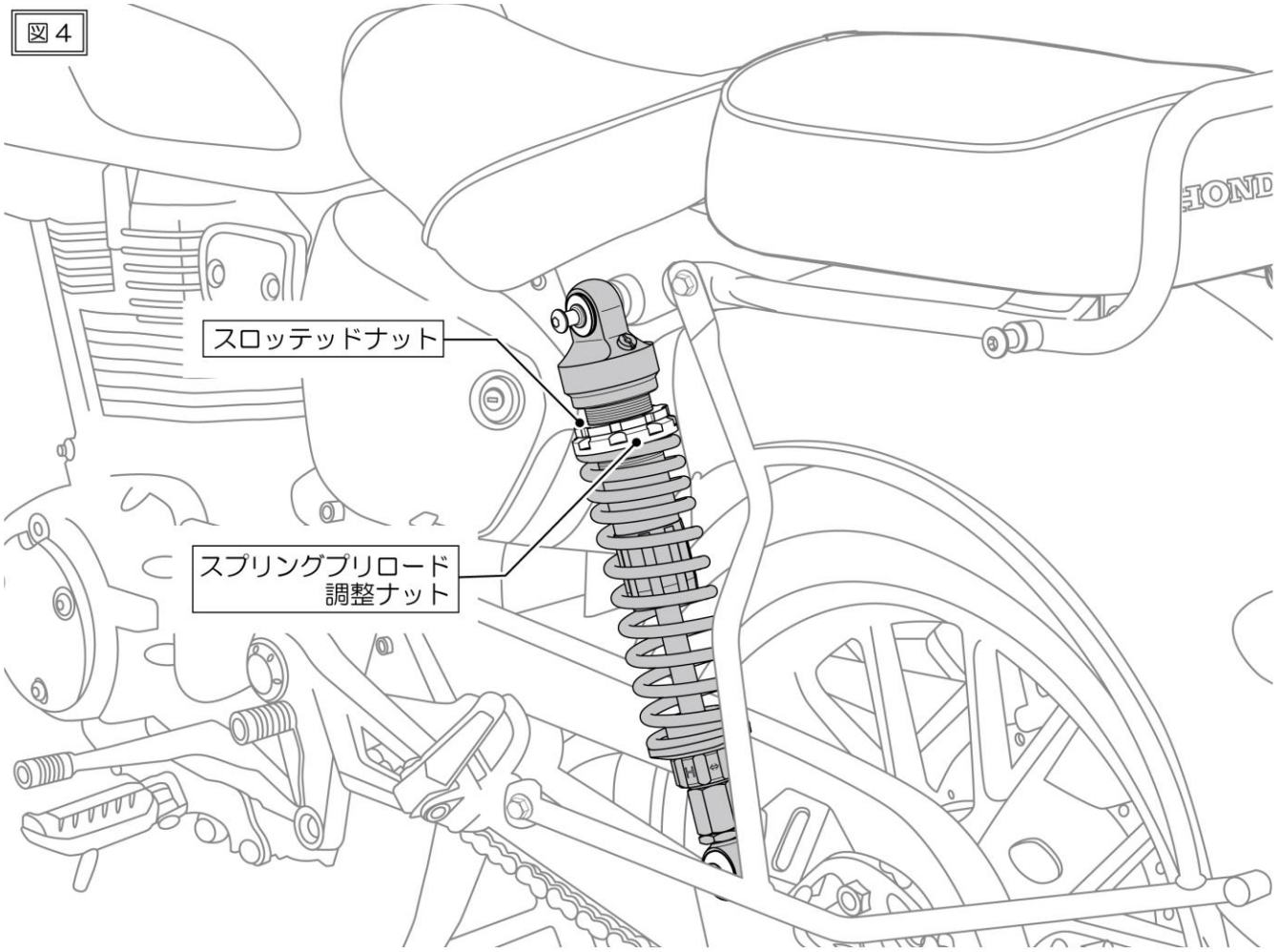
04. スプリングプリロード調整（イニシャル調整）

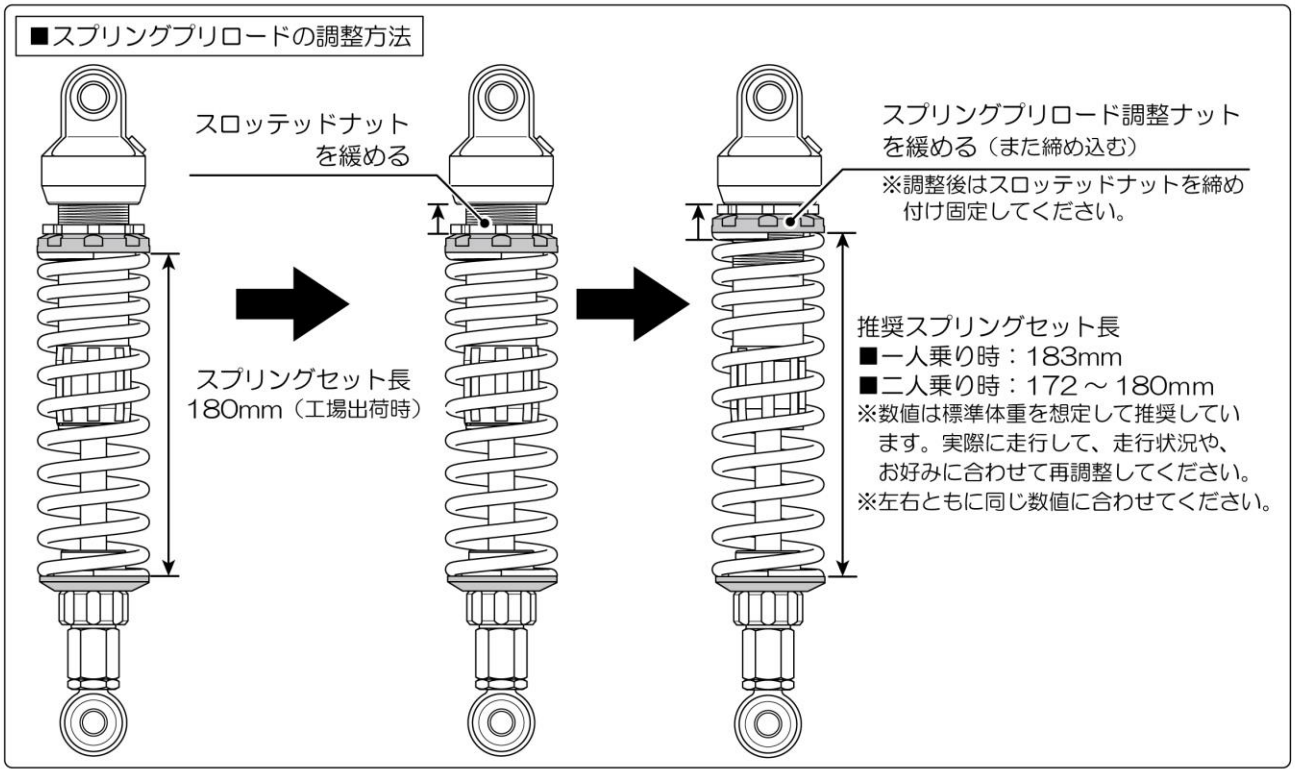
・図４を参考に、スロッテッドナットを緩めます。

・スプリングプリロード調整ナットを緩め（または締め込み）、スプリングセット長を調整します。

※数値は標準体重を想定して推奨している値になります。使用状況やお好みに合わせて調整してください。

図４





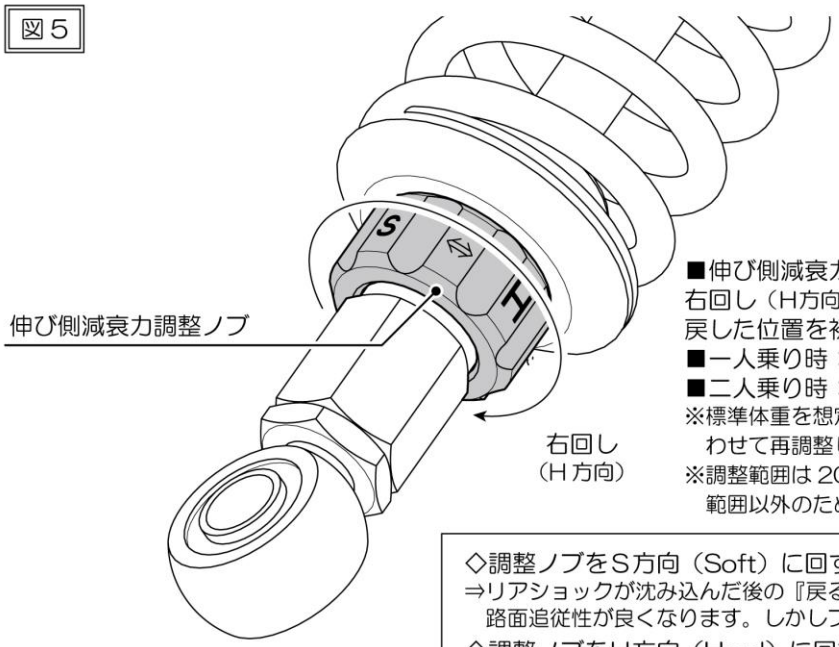
05. 伸び側減衰力の調整

・図５を参考に、伸び側減衰力調整ノブを右回り（H 方向）に最大まで締め込みます。

・ノブを１クリック戻したところを初期位置（１段目）とします。

・ノブを 18 段目（推奨）まで回し、走行状況やお好みに合わせてS方向（Soft）かH方向（Hard）に回して調整してください。

図５



■伸び側減衰力調整ノブを初期位置にセット
右回し（H方向）に最大まで回します。その後に１クリック戻した位置を初期位置（１段目）とします。
■一人乗り時：18 段目
■二人乗り時：15 段目
※標準体重を想定して推奨しております。実際の走行や好みに合わせて再調整してください。
※調整範囲は 20 段目までになります。21 段以上回りますが調整範囲以外のため減衰力は変化しません。

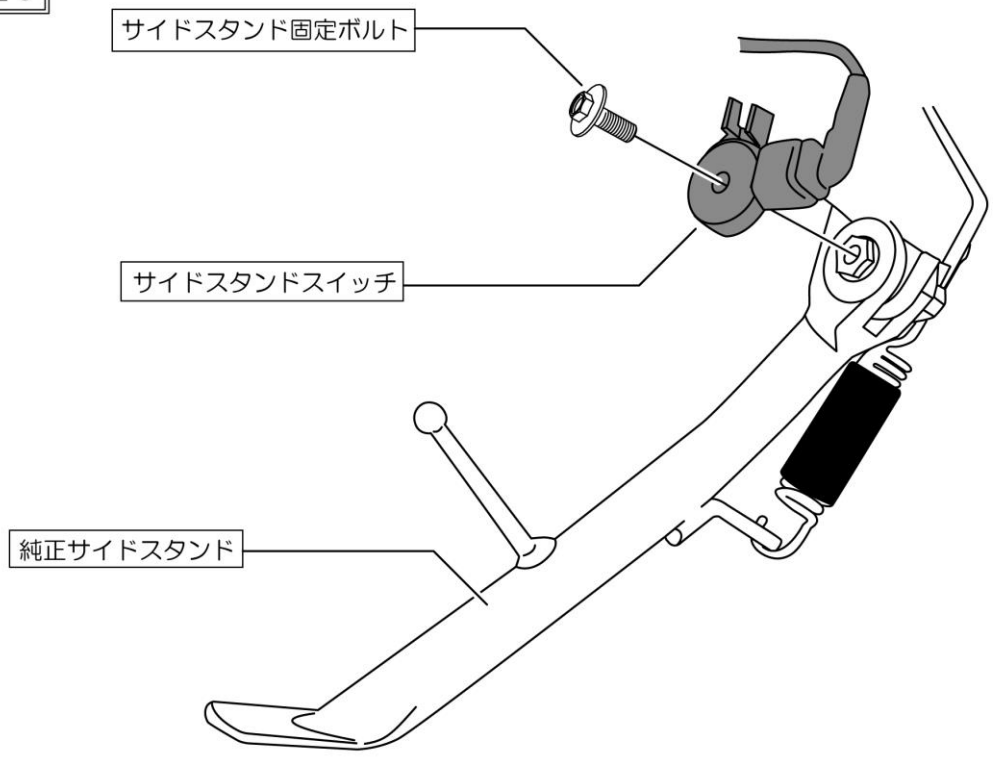
◇調整ノブをS方向（Soft）に回すと◇
⇒リアショックが沈み込んだ後の『戻るスピードが早く』なります。
路面追従性が良くなります。しかしフワフワとした乗り心地になります。

◇調整ノブをH方向（Hard）に回すと◇
⇒リアショックが沈み込んだ後の『戻るスピードが遅く』なります。
ピッチング（上下の揺れ）が抑えられ、落ち着いたフィーリングになります。しかし路面追従性が悪くなり、固い乗り心地になります。

06. サイドスタンドスイッチの取り外し

・図６を参考に、サイドスタンドスイッチ固定ボルトを取り外し、サイドスタンドスイッチを取り外します。

図６



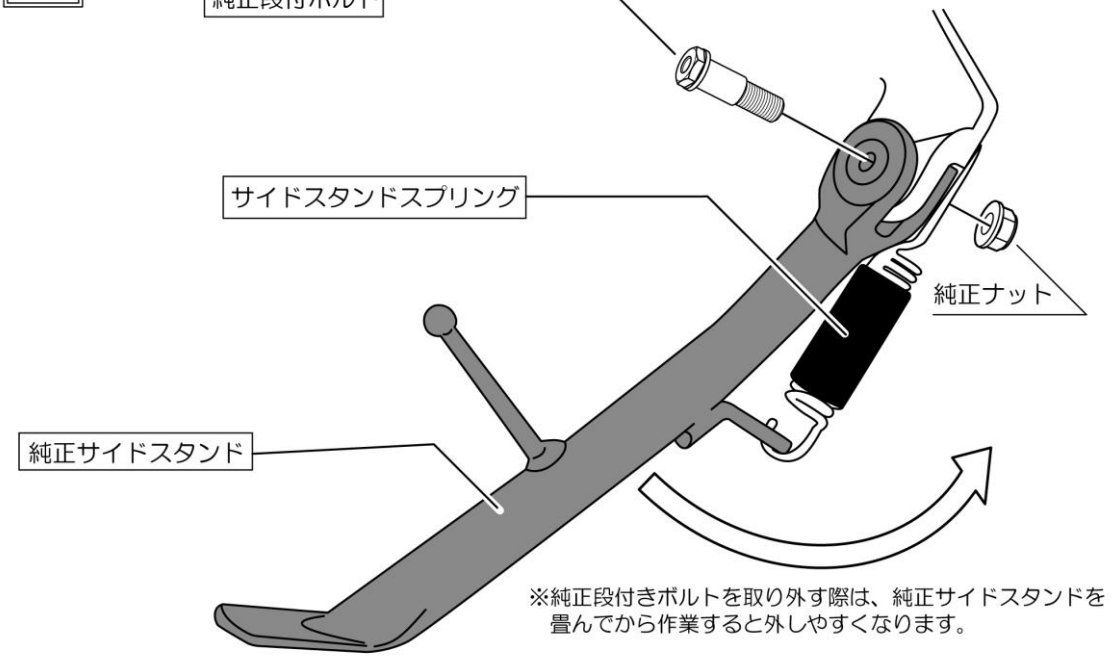
07. サイドスタンドの取り外し

・図７を参考に、純正ナットと純正段付きボルトを取り外します。

※純正サイドスタンドはスプリングで強い力が掛かっており、純正段付きボルトを抑え込むような力が働いています。スプリングを一番短い状態にするために、純正サイドスタンドを畳み、純正段付きボルトに力が掛からないよう押えながら取り外してください。また車両や部品の破損やケガには十分に注意して作業を進めてください。

・純正サイドスタンドを畳んだ状態にして、純正サイドスタンドをズラしながらサイドスタンドスプリングと純正サイドスタンドを取り外します。

図７



08. ショートサイドスタンドの取り付け

・サイドスタンド取付部にグリスを塗布します。

・図８を参考に、純正段付きボルトと純正ナットを使用して②ショートサイドスタンドを車両に取り付けます。

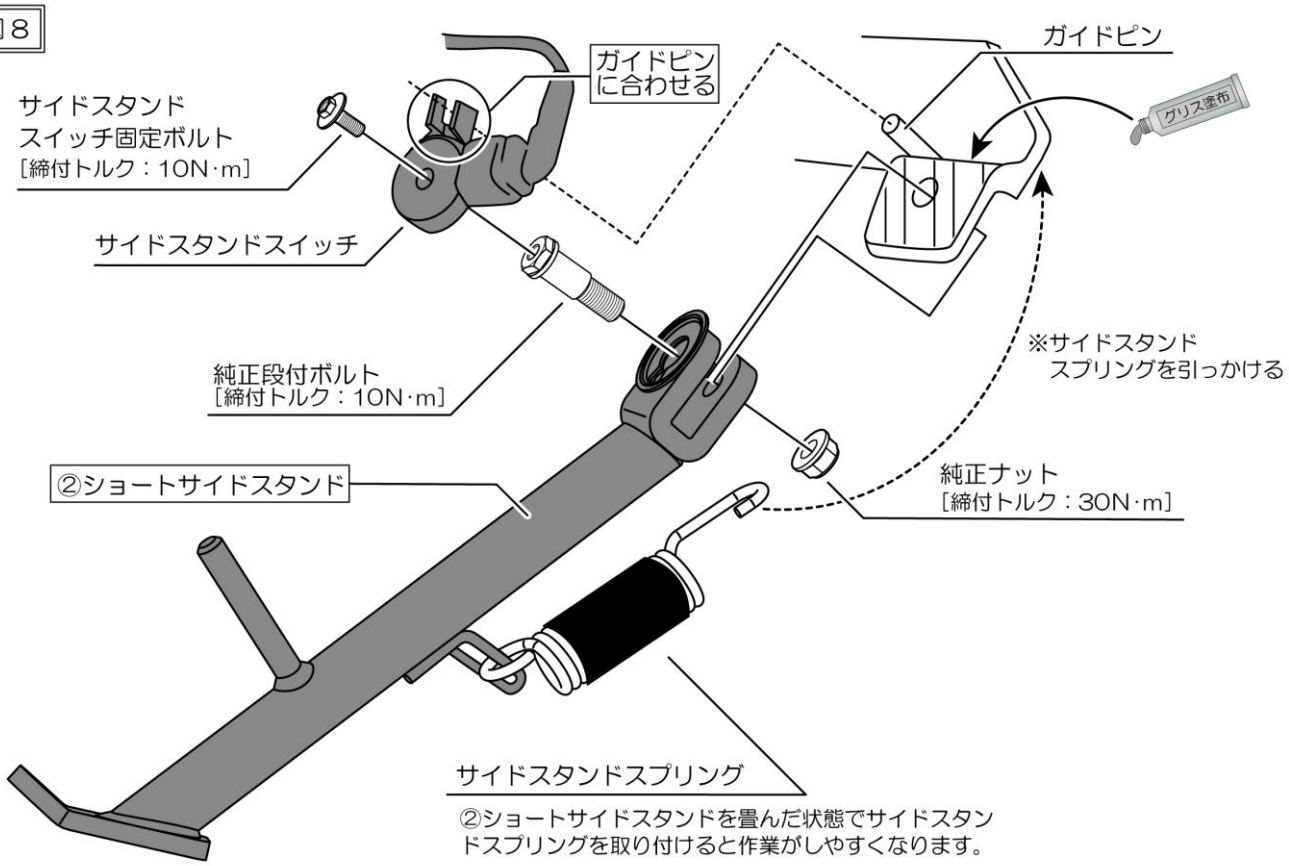
・サイドスタンドスプリングを取り付けます。

※②ショートサイドスタンドを畳んだ状態にして、サイドスタンドスプリングを先に取り付ける順番を推奨します。

・サイドスタンドスイッチを位置決めのガイドピンに合わせ、サイドスタンドスイッチ固定ボルトで取り付けます。

・純正サイドスタンドとサイドスタンドスイッチが正常に動くことを確認します。

図８



9. 点検作業

・各部が確実に取り付けられていることを点検してください。異常がなければ作業は終了です。

■商品保証について
商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。
1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。 個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。
デイトナ保証規定
https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php
※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。

■保証修理の受付について
お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。
インターネットお問合せ
https://www.daytona.co.jp/contact/index.php

株式会社デイトナ
東証スタンダード上場
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
https://www.daytona.co.jp

転載禁止 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止